

しゃかいふくし ほうじん いわて かいこうほう し
社会福祉法人 岩手ひだまり会広報誌

ひだまり

2021.12
Vol.23



えがお くわかん
～笑顔あふれる空間を～

みずさわもりした じどうか
ひだまり水沢森下 児童課

あたら りょういく
新しい療育サービスがスタート!!



社会福祉法人岩手ひだまり会は令和3年度9月から、新しい療育サービスを開始しています。一つは児童発達支援事業で、就学前のお子様へのサービス、一つは保育所等訪問支援サービスです。ここでは、2つの事業についてご紹介させていただきます。

児童発達支援事業って何？

皆さんは「三つ子の魂百まで」、この言葉を聞いたことがありますか。これは三歳頃までに人格や性格は形成され、百歳までそれは変わらない。という意味で使われることわざです。乳幼児期に人格形成の基本が出来上がるということは科学的に証明されています。

厚生労働省においても「早期療育」の重要性は声高に語られています。児童発達支援事業所は、まさに「三つ子の魂百まで」の通り小学校就学前までの障がいのあるお子様が主に通い、個々の発達の状態や障がい特性に応じて、今の困りごとの解決と、将来の自立と社会参加を目指してお子様と親御さんを支援していく事業です。

早期から療育を行う事で早いうちからお子様の「できたー」という達成感を親御さんと共に体感して、褒められる嬉しさを覚えていただけるよう支援していきます。

保育所等訪問支援って何？

障がいのあるお子様を通っている、保育園や幼稚園、学校等へ専門のスタッフが訪問支援員として、二週間に一回程度訪問する事業です。

このサービスは訪問支援員が、集団活動や授業の中で直接関わりお子さんが参加しやすい手助けを促す直接支援と、所属先のお子様の様子を見て、担当の先生と一緒に現実的にできる環境や関わり工夫の情報を共有する間接支援サービスがあります。利用するお子様は、本人の特性と支援方法を把握できるお子様に限るため、必ず当会放課後等デイサービスや児童発達支援事業を利用しているお子様に限ります。

詳しくは、相談支援事業所へお問合せください。

奥州市
 相談支援事業所ひだまり
 TEL 0197-47-4234

北上市
 相談支援事業所ひだまり北上
 TEL 0197-72-5793

れいわさんねんどくじょうかいけつ じこ ぼうし ほうこくかい
令和三年度苦情解決（事故ひやりはっと防止）報告会

信頼される
 サービスの
 質の向上に向けて



本会役員と顧問弁護士・第三者委員

令和三年十一月二十九日、苦情解決報告会が小平竜太顧問弁護士、第三者委員千葉栄様、小原敏和様と法人役員、各事業所の苦情解決責任者と担当者の参加のもと、リモート（法人本部と各事業所との遠隔）にて開催されました。

この会は、過去一年間各事業所にいただいた『苦情・要望』部門と『事故・ひやりはっと』部門の二部構成による報告と改善に向けての協議が行われました。まずは、令和二年九月から令和三年八月までの間受付した苦情四件、要望九件に関する解決に向けての取組が報告されました。

この報告会は、ご家族様や利用者様が勇気を出して話してくれた苦情や要望を真摯に受け止め、これからのサービスの質の向上に向けて、解決に至る段階の整合性を図ること。また、第三者委員、顧問弁護士の先生からの意見を聞き、専門的な視点からの考え方を学ぶことを目的として開催されています。

『ひやり・はっと』は、今では福祉業界だけでなく様々な職種でも話し合われている内容と思われまます。小さな出来事であっても、このまま何もなかったら事故や事件になるかもしれない等、気になる事象の対策や改善を行うことで、重大な事故にならないよう未然に防ぐ効果があります。

一件の重大事故の裏には、二十九件の事故に準ずる事象、二百件の事象（ひやり・はっと）

があると言われています。この報告会においては、事故十八件・ひやりはっと百九十九件の各事業所の報告も「自分ごと」として捉えること。そして事前の対策と事後の処理が正しかったのか専門家の皆さんに検証してもらい、危険防止の取組みを共有し職員一人ひとりの気づきを増やす事で、重大な事故を未然に防ぐということを学ぶ機会となりました。

この報告会をつけ私たちが役員は、今後利用者様に信頼性の高いサービス、安全安心なサービスを提供するための取り組みの共有と専門家からの検証結果に基づき、利用者様・ご家族様へより質の高いサービスの提供を行う事を改めて心に誓いました。



パソコンに写った本部画面



事務所ではパソコン画面を通して遠隔参加



夕方まで居られる就労施設



さとうまさひろ 主任兼目標工賃達成指導員

Q. 事業所の特徴とはなんですか？

A. ひだまり江刺岩谷堂就労課は平成二十八年九月に開所し、今年九月で六年目を迎えました。

一階は児童課、二階は就労課となっております。「多機能型事業所」です。

本事業所の大きな特徴として、御本人の希望、御家族の状況をアセスメントした上で、必要な場合は「サロン活動」として夕方までご利用いただくことができます。また、就労以外の社会訓練、趣味活動等の充実を目指しています。さらに、定員に限りがありますが、他事業所の利用後の居場所として日中一時支援事業をご利用になれます。ですが、基本的には本事業所利用者様

を優先させていただいております。

Q. 事業所ではどんな作業をしていますか？

A. 主に青果物に関わる作業です。依頼先からの加工指示に従い作業に取り組みでいます。例を挙げると、玉ねぎの皮を剥く、青果物を指定された数、向きに従い袋を入れて閉じるといった内容です。また農業と福祉をマッチングさせた農福連携作業にも取り組んでいます。私たち就労課は、リンゴ農家さんと契約を結び、今年で二年目を迎える摘果、葉摘み、玉回し作業を行っています。他には、新聞紙、段ボール、アルミ缶等のリサイクル回収に取り組みしており、利用者さんが好きな作業メニューの一つです。

Q. どんな事業所を目指していますか？

A. 様々な年齢の方が利用されています。利用者さんが就労作業を通じて、ひととの関わり方、等、社会性を培いながら楽しめる作業ができる事業所を目指しています。



就労風景 (玉ねぎの皮むき)



ほうかごとう
放課後等デイサービス
 へいせつがたそうだんしえんしせつ
併設型相談支援施設



ふくしぎょうせい たずさ けいけん い
 市の福祉行政に携わった経験を活か
 し、職員をサポートする島津所長

Q. 新しくなった事業所の特徴とはなんですか？

A. 相談支援事業所ひだまり北上の特徴は、今年の九月一日からひだまり北上中央からひだまり北上にこことに引越したことでスペースも広くなり、相談室の仕切りもカラフルで明るく、相談しやすい雰囲気の仕事所となったことです。

Q. 事業所で力を入れていきたい活動や取り組みを教えてください。

A. 今後力を入れていきたい活動は、新規の開拓です。
 近年、北上市では障害福祉サービスの利

用希望者が増加傾向にあり、近隣の相談支援事業所では対応しきれない状況になっており、当事業所の再開が歓迎されているところでもあります。
 新規開拓のための取り組みとしては、北上市子ども療育センターをはじめ、各相談支援事業所及び放課後等デイサービス・児童発達支援・日中一時支援を実施している事業所との密接な連携を図ってまいります。

Q. どんな事業所を目指していますか？

A. 保護者の皆さんや各事業所の皆さんが、気軽に安心して相談できる敷居の低い事業所を目指します。

また、保護者様、そしてご家族の皆様は、日頃から利用者様の将来について不安を抱えていることから、利用者様の年齢に合った適切なサービスが提供できる事業所を目指します。



こんねんどあら せっち こべつしえん
 今年度新たに設置した個別支援スペース

ありがとう！ ひだまり江刺桜木



現在の建物、おしゃれな外観は多くのお子様・保護者に好評でした



↑開設当初の建物と看板

ひだまり江刺桜木お休みします

ひだまり江刺桜木は、平成十八年四月に江刺岩谷堂愛宕字朴ノ木十の二に（株）リベスタ様のご厚意で社宅の一階を貸していただき、前身のNPO法人地域ふれあいステーションひだまり第一号児童デイサービス「ひだまり」として開設されました。その後、現在の江刺愛宕字梁川一二五番地一に移転し社会福祉法人化に伴う名称変更で「ひだまり江刺桜木」となり、開設から約十六年間に、主に江刺のお子様の療育をして参りました。現在の建物は、旬ワングラ―商会様からのご厚意で使わせていただき、外観・内装ともにお洒落で通ってくるお子様と保護者様からの評判も良く江刺の中核的な施設ではありましたが、福祉施設としては、現在の法令に適合しにくいこととなり、誠に残念ながら休止という形をとらせていただきました。

今後、また新たな形で計画を検討しておりますので、その節は変わらぬご愛顧のほど宜しくお願いいたします。



一階は喫茶店仕様でお洒落な内装でした



建物前の駐車場も広く外遊びに使わせていただきました

保護者だより



ひだまり胆沢
母 千田 佳織さん
利用者 太陽さん

「今日はひだまりに行く日だよ」四月から小学校に行き始めた太陽に毎日かける言葉です。自閉症の太陽は、四月からひだまり胆沢にお世話になっていきます。小学校、ひだまりと新しい環境が二つ重なり、混乱しないかと最初は心配でしたが、私の心配もよそに今では学校、ひだまりと、楽しく通っています。

ひだまりでは、同年代のお友達だけでなく、年の離れた方たちとも交流があります。「コミュニケーションが心配だった太陽にとって、遊んだり甘えたりとの多様な関係は、とても良い経験だと思っています。また、職員さんの温かいご指導で一年生になってからの成長ぶりに、親の私も、うれしくなることの連続です。

ひだまりの皆さん、これからもよろしくお願ひします。

明るい職場で、楽しく働いています！



菊池なつみさん（二十歳）

手際よく野菜をカットするなつみさん

令和二年三月に前沢明峰支援学校高等部を卒業したなつみさんは現在、フードパワーセンターバリユー水沢店で働いています。数種類の包丁を使い分けて野菜をカットし、袋詰め、値札付け、陳列までの一連の作業を行っています。指示を受けた内容はメモを取り、作業の流れを確認しながら随時段ボールを片付けるなど、手際よく取り組んでいました。

初めは戸惑う事も多くあったようですが、今では「職場の皆さんが明るく優しく教えてくれて、分かる事・出来る事が増えていくのが楽しい」

「こんな料理に使ったよ、とお客さんに声をかけてもらえるのが嬉しい」と、いきいきとした表情で話してくれました。職場の方も、「分からないことはすぐに確認し、正確に作業を進めることが出来る」となつみさんの働きぶりを評価していました。

これからの目標として、「在庫や値段を考えながら、カットフルーツを作れるようになりたい」と話し、さらに高みを目指すなつみさんでした。

〇当時の職員より

現胆沢所長 但木 美穂

ある日お店で、ばったり会い「ここで働いています」と教えてくれたなつみさん。

「チーズケーキとデコレーションケーキのハーフを同時に焼きたいです」の質問に頭を悩ませた日々を思い出しました。

なつみさんが、てきぱき仕事をこなし、「即戦力です」とスタッフの方から報告を頂き嬉しくて涙ができました。買い物に行きますね。

えがお じぎょうしょ
笑顔あふれる事業所



コロナ禍の中で思う事...

ひだまり江刺第二桜木 所長 高梨 恵

今回、広報のお話をいただき、過去の広報を読み返してみました。

たくさんの人の中でマスクをしない日常生活…活動…行事…。つい数年前には予想もしていない「新型コロナウイルス感染」の現実。毎年やっていたクリスマス会や保護者会行事

の記事をとて懐かしく感じています。

新型コロナウイルスが流行してから、日常生活はもちろん、ひだまりでの活動にもかなりの制限がかけられるようになりました。命を守る仕事ですから当たり前なのですが、一方で子供たちの過ごし方や活動の幅が狭くなってしまつという葛藤もありました。現場では毎日、お子様の成長のお手伝いをする為、また楽しみに来所していただけるようにと日々、試行錯誤し活動を考えています。コロナ禍でも子供たちの笑顔がみられる事業所である為に視点を変えた新たな取り組みを職員で見出していかなければと思っています。

そんな中、私が一番大切にしているモチーがあります。職員が子供たちに笑顔で関わり支援する事です。その為にも職員の現場での雰囲気作りが大切だと感じています。明るい笑顔で利用者をお出迎える、挨拶をする事できつと子供たちも笑顔で過ごせると思っています。そこはコロナ禍であってもなかくても変わらずに取り組める大切な事だと感じています。早くコロナが終息し、子供たちがマスクを外し笑い合える日が来ますように。

寄贈品

左記の方より寄贈頂きました。
令和三年四月十九日
株式会社公衆 ウィンス奥州様より
お菓子詰め合わせ 二百五十個
令和三年六月十二日
小野寺賀子様より おもちや二個
令和三年六月二十六日
菅原広二様より 五万円
令和三年七月二十一日
株式会社公衆 ウィンス奥州様より
お菓子詰め合わせ 八箱
ありがとうございました。

編集後記

今回は、九月一日からスタートした、岩手ひだまり会の新事業『児童発達支援事業』『保育所等訪問事業』を中心に紹介しました。手洗い、マスク着用、換気等の感染予防の基本行動を継続していきましょう。(粟野)

お詫びと訂正

広報第二十二号の寄付品欄にて、岩間透安様の名前のふりがなに誤りがありました。「イワマ トウアン」様と記載しておりますが、正しくは「イワマ ユキヤス」様になります。大変失礼いたしました。

発行・編集 社会福祉法人岩手ひだまり会 広報委員会
TEL: 0197-47-4222 FAX: 0197-47-4223 URL: <http://ousyu-hidamari.or.jp> ホームページ検索
印刷 有限会社江刺プリント社 岩手ひだまり会法人本部
住所 〒023-0828 奥州市水沢東大通の二丁目4番3号
社会福祉法人岩手ひだまり会をクリック